

# アウトカム評価・臨床指標／医療機能の変化に係る特別調査について

## 1. 調査の目的

DPC導入による患者アウトカムや医療プロセスの変化または影響及び医療機能の変化について、臨床指標等を活用し評価を行う。

## 2. 班構成

### 【診療報酬調査専門組織委員】

武澤 純：名古屋大学大学院救急・集中治療医学/教授（班長）

西岡 清：横浜赤十字病院/病院長

柿田 章：北里大学名誉教授（私立医科大学協会/副会長）

原 正道：横浜市立大学医学部/教授

松田晋哉：産業医科大学公衆衛生学/教授

信友浩一：九州大学大学院医療システム学/教授

酒巻哲夫：群馬大学医学部医療情報部/教授

### 【診療報酬調査専門組織外の委員】

吉田勝美：聖マリアンナ大学予防医学/教授

長谷川敏彦：国立保健医療科学院政策科学部/部長

石田達樹：東京医科歯科大学医歯学教育システム研究センター/専門職員

小山信彌：東邦大学医学部附属大森病院/病院長

注： は班長

## 3. 調査方法

### （1）調査方法

DPCの導入に前後して毎年7～10月に実施される退院患者調査および医療機能評価に係るアンケート調査を素材として、アウトカム評価、臨床指標に係る集計・分析を行う。

具体的な進め方は下記のとおり。

- ・ 評価指標について、短期的な指標、長期的な指標に分けて整理し、指標の定義（分子／分母の定義）データの収集方法について検討する。
  - ） 臨床指標案の中から収集が容易で患者アウトカムと医療プロセスの変化を反映するものを選び、全体の平均値の推移を評価する。
  - ） 様式1とE・Fファイルに含まれる項目に関しては平成14年から平成16年（7月から10月）の収集データから調査を行うこととし、医療機能に関する調査で上記指標に含まれない指標は別途調査を行う。
- ・ 医療機能評価に係るアンケート調査を行う。（調査票別紙参照）
- ・ これら両者のデータを統合し、アウトカム評価、臨床指標に係る集計・分析を行う。

## （2）調査対象病院

DPC 対象病院（特定機能病院等）

DPC 試行病院

DPC 調査協力病院

## （3）調査票

退院時患者調査から収集する調査項目：別紙 1 a

医療機能に関する調査項目：別紙 1 b

エクセルに本票を作成して入力シートとし、エクセルに入力する  
と別途提出用データが作成できるようにして病院の負荷軽減を図  
った。

## 4. 調査の実施状況（詳細は、別紙 2）

12月17日 調査説明会開催

1月14日 調査票の発送

2月10日 データ提出期限（データ収集状況の詳細は、別紙 2）

2月14日～データクリーニング・データ集計

## 5. 調査結果の粗集計

現在までに回答が得られた232病院のデータについて、データクリーニングを行っているが、調査データ作成およびデータ入力に際してのエラーが散見されるため、該当データの再調査を取り急ぎ依頼する予定である。

医療機能について、可能な範囲でエラーデータのクリーニングを行ったうえで、粗集計を行った結果は別紙3のとおり。

□調査票1～8に共通する入力ルールの記載

- 調査票1～調査票8までの8枚のシートそれぞれにデータを入力して下さい。
- 黄色で塗られた項目のみが必要入力項目です。
- データ取得期間

各項目の検査期間は、収集期間欄に示しています。調査にあたって年間分を算計することが困難な場合は、調査期間中の任意の一ヶ月間の集計値を記載してください。

- 該当しない項目  
各項目の事項が貴院に該当しない（存在しない）場合、備考欄に「該当なし」と明記してください。
- データを取得できない場合  
データを取得できない項目に関しては、備考欄に「取得不能」と明記し、取得できない理由も備考欄に統けてご記入の上、お知らせください。
- データ入力ルール  
1) 数値入力  
2) (チェックリスト項目)  
単位(人、床、件等)は記載せず、数値のみ記載してください。  
分子が「有無」の場合は、該当欄に「有」または「無」でお答えください。また、書院に該当しない場合は「該当しない」を選択してください。

□その他必要と思われる事項の設定、記載

- 担当者連絡先 こちらもご記入下さい
- |       |        |    |     |
|-------|--------|----|-----|
| 施設コード | 記載担当者名 | 所属 | 連絡先 |
|       |        |    |     |

检测项目 (未完成项目划斜线)	阳性结果(注:+)		阴性结果(注:-)		分子(单位)	分母(单位)	阳性率	检测时间 (时间)	检测方法(检测器)	参考值/判定标准(单位)
	阳性数	加权阳性数	阴性数	加权阴性数						
粒细胞					阳性出病房数	〔床〕	阳性出病房数	〔床〕	阳性出病房数	〔床〕
一阶段压					阳性出病房数	〔床〕	阳性出病房数	〔床〕	阳性出病房数	〔床〕
精液压					阳性出病房数	〔床〕	阳性出病房数	〔床〕	阳性出病房数	〔床〕
感染压					阳性出病房数	〔床〕	阳性出病房数	〔床〕	阳性出病房数	〔床〕
介细胞差值压					阳性出病房数	〔床〕	阳性出病房数	〔床〕	阳性出病房数	〔床〕
白细胞差值压					阳性出病房数	〔床〕	阳性出病房数	〔床〕	阳性出病房数	〔床〕

届出病床数とは、保健医療として地方社会保険事務局に届けられた病床数をいう

未利里察(ニ様子情報)

病床利用率 = (調査期間中の在院患者延べ数 / 調査期間中の日数(123日)) × 100

緊急手術などは、手術を行わなければ、患者の生命予後、身體機能に著しい影響を及ぼすと判断され、診断が確定して即日に行われる手術である。最終手術予定表に載らざりに行われた手術をさす。

H16 田帰



## 調査票3

○ 以下の項目について、平成14年度、平成15年度及び16年度前半(6ヶ月間)の実績を記入してください。

## (高度医療の提供実績)

	14年度	15年度	16年度前半	情報収集方法	備考
高度先進医療の承認件数 〔件〕				治験管理センター記録	
高度先進医療の実施件数 〔件〕				治験管理センター記録	
高度先進医療の申請中件数 〔件〕				治験管理センター記録	
治験契約件数 〔件〕				治験管理センター記録	
治験実施件数 〔件〕				治験管理センター記録	

・調査対象の「治験」の範囲は、特定療養費の対象となる薬事法上の治験(薬事法(昭和35年法律第145号)第2条第7項に規定する治験の範囲としてください)、  
 ・「治験実施件数」は、プロトコル数としてください。(治験対象患者数ではありません。)また、調査期間中に実施されたプロトコル数としてください。(必ずしも契約件数の内訳とならないことがあります。)  
 ・「治験契約件数」は、プロトコル数としてください。また、新規契約と以前からの契約件数(複数年度契約の場合)を合計した数をご記入ください。

	14年度	15年度	16年度前半	情報収集方法	備考
治験完全実施率 〔%〕				治験管理センター記録	
「治験完全実施率」は、治験にエントリーされた患者のうち、中止・脱落を除いて最終的にプロトコルを終了した患者の率を記入してください。集計対象となる治験の範囲は、特に限っておりませんので、「契約症例数全てが終了した治験」に限った率としていたく必要はありません。					

○各年度7月1日時点での状況を「有」又は「無」でご記入ください。

	14年度	15年度	16年度	情報収集方法	備考
専任の治験担当職員の配置による治験管理センター設置の有[有無] 選択して下さい				選択して下さい	治験管理センター記録

## (臓器移植)

	14年度	15年度	16年度前半	情報収集方法	備考
心臓移植件数 〔件〕				診療記録	
肝臓移植件数（注1） 〔件〕				診療記録	
腎臓移植件数（注2） 〔件〕				診療記録	
肺移植件数 〔件〕				診療記録	
造血細胞移植・骨髓移植・同種末梢血幹細胞移植・臍帶血移植〔件〕				診療記録	

注1:生体肝移植を含む

注2:死体腎移植を含む

注3:生体肺移植を含む

(教育研修機能)		[単位]	数値入力欄	測定期間	情報収集方法	備考欄
医師数	〔人〕			平成16年11月1日時点		
指導医の数	(注1)	〔人〕		平成16年11月1日時点		
うち、常勤の指導医数	〔人〕			平成16年11月1日時点		
5年以上の経験を有する医師の数	(注2)	〔人〕		平成16年11月1日時点		
専門医または認定医の数	(注3)	〔人〕		平成16年11月1日時点		
研修医の受入数	〔人〕			平成15年度 年間		
研修1年目の研修医の受入数	〔人〕			平成15年度 年間		
研修2年目の研修医の受入数	〔人〕			平成15年度 年間		
研修3年目の研修医の受入数	〔人〕			平成15年度 年間		
研修競争率(マッチング比率)	〔倍〕			平成15年度 累積	医療研修生准拠医師臨床研修マッチング協議会	
病理医数	〔人〕			平成16年11月1日時点		
病理解剖(剖検)の数	(注4)	〔件〕		DPC調査期間中		
CPC(臨床病理検討会)の検討症例数	(注5)	〔症例〕		DPC調査期間中		
麻酔科医数	〔人〕			平成16年11月1日時点		
放射線撮影医数	〔人〕			平成16年11月1日時点		
薬剤師数	〔人〕			平成16年11月1日時点		
薬学実習受入学生数	〔人〕			平成15年度 年間		
放射線技師数	〔人〕			平成16年11月1日時点		
放射線技師実習受入学生数	〔人〕			平成15年度 年間		
検査技師数	〔人〕			平成16年11月1日時点		
検査技師実習受入学生数	〔人〕			平成15年度 年間		
理学療法士数	〔人〕			平成16年11月1日時点		
理学療法士実習受入学生数	〔人〕			平成15年度 年間		
作業療法士数	〔人〕			平成16年11月1日時点		
作業療法士実習受入学生数	〔人〕			平成15年度 年間		
上記以外の研修生数	〔人〕			平成15年度 年間		
常設の研修管理委員会(卒後臨床研修センター等)の有無(有無)				選択して下さい		
職員数	〔人〕			平成16年11月1日時点		
うち、専任の職員の数	〔人〕			平成16年11月1日時点		
研修カリキュラムの有無	〔有無〕			選択して下さい		
指導医講習会(注7)に参加した指導医の数	〔人〕			平成16年11月1日時点		
常設の研修管理委員会(卒後臨床研修センター等)の有無(有無)				選択して下さい		
職員数	〔人〕			平成16年11月1日時点		
うち、専任の職員の数	〔人〕			平成16年11月1日時点		
研修カリキュラムの有無	〔有無〕			選択して下さい		
指導医講習会(注7)に参加した指導医の数	〔人〕			平成15年度 年間		

- 注1:指導医は臨床研修病院の基準にあるように、7年以上の臨床経験を有するものであつて、  
プライマリケアを中心とした指導を行なうことができる、経験及び能力を有している者  
注2:5年以上の経験を有する医師(リitle医師)については、臨床経験年数を基本として年数を判断して下さい。(指導医としての経験年数ではありません。)  
注3:専門医認定医の範囲について、特に限つておません。また、学会によっては専門医認定医という名稱以外の名稱(指導医等)を用いている場合がありますがその場合も含めてください。  
注4:病理解剖(剖検)の数は、病院内に行なつた件数として下さい。(病院に勤務する医師が他の病院において行つた病理解剖の数は含めません。)  
注5:CPC(臨床病理検討会)の検討症例数は、病院回収検査会の検討症例数のみません。学外で実施された症例についても、解剖剖検剖数に含めて下さい。  
注6:指導管理委員会については、医学教育のためのワークショップ(夏季研修会、卒後臨床研修センター等)について記入して下さい。また、職員数について記入して下さい。  
注7:指導医講習会は、医学教育のためのワークショップ(夏季研修会、文部科学省主催)など、指導医を対象とした講習会のこと。厚生労働省、文部科学省が主催した指導医講習会であれば、参加した指導医の数に含めて下さい。

## (地域医療との連携状況)

地域医療室の設置の有無	数値入力欄	測定期間	情報収集方法	備考欄
「地域医療室の設置の有無」 （2時間診療体制の有無）	〔有無〕 「有無」 「無」	平成16年1月1日時点 平成16年1月1日時点	「有無」 「無」	「有無」 「無」

注1：「地域医療室」については、今回の調査においては、貴院で地域連携室として位置づけているのがあれば、「あり」としていただき結構です。

## (医療の主任に係る安全管理を行つた委員会の組織)

医師・歯科医師	数値入力欄	測定期間	情報収集方法	備考欄
看護師	〔人〕 〔人〕	平成16年1月1日時点 平成16年1月1日時点	「有無」 「無」	「有無」 「無」
薬剤師	〔人〕 〔人〕	平成16年1月1日時点 平成16年1月1日時点	「有無」 「無」	「有無」 「無」
その他、具体的な部署を記入してください。（ ）	〔人〕 〔人〕	平成16年1月1日時点 平成16年1月1日時点	「有無」 「無」	「有無」 「無」

## (医療にかかる安全管理のための委員会の組織別別别人数)

医師・歯科医師	数値入力欄	測定期間	情報収集方法	備考欄
看護師	〔人〕 〔人〕	平成16年1月1日時点 平成16年1月1日時点	「有無」 「無」	「有無」 「無」
薬剤師	〔人〕 〔人〕	平成16年1月1日時点 平成16年1月1日時点	「有無」 「無」	「有無」 「無」
その他、具体的な部署を記入してください。（ ）	〔人〕 〔人〕	平成16年1月1日時点 平成16年1月1日時点	「有無」 「無」	「有無」 「無」

## (院内感染対策)

院内感染対策専任職員数	数値入力欄	測定期間	情報収集方法	備考欄
〔人〕	平成16年1月1日時点	平成16年1月1日時点	「有無」 「無」	「有無」 「無」

## (看護師配置の実績)

看護師員数	数値入力欄	測定期間	情報収集方法	備考欄
うち、常勤看護職員数	〔人〕 〔人〕	平成16年1月1日時点 平成16年1月1日時点	「有無」 「無」	「有無」 「無」
うち、平成15年度採用入数	〔人〕 〔人〕	平成15年度 実績 平成16年1月1日時点	「有無」 「無」	「有無」 「無」
専門看護師数（注）	〔人〕 〔人〕	平成16年1月1日時点 平成15年度 実績	「有無」 「無」	「有無」 「無」
うち、平成15年度採用入数	〔人〕 〔人〕	平成15年度 実績 平成16年1月1日時点	「有無」 「無」	「有無」 「無」
認定看護師数（注）	〔人〕 〔人〕	平成15年度 実績 平成16年1月1日時点	「有無」 「無」	「有無」 「無」
うち、平成15年度採用入数	〔人〕 〔人〕	平成15年度 実績 平成16年1月1日時点	「有無」 「無」	「有無」 「無」
認定看護師数（注）	〔人〕 〔人〕	平成15年度 実績 平成16年1月1日時点	「有無」 「無」	「有無」 「無」
全看護職員の平均年齢	〔歳〕	平成16年1月1日時点	「有無」 「無」	「有無」 「無」

注1：病院独自の制度による専門看護師・認定看護師は含まない。

## (診療録管理の状況)

診療情報整理に専従する者の数	数値入力欄	測定期間	情報収集方法(情報源)	備考欄
うち、診療情報管理士の数	〔人〕 〔人〕	平成16年1月1日時点 平成16年1月1日時点	「有無」 「無」	「有無」 「無」
1患者カラカル制御の有無（注1）	〔有無〕	「有無」	「有無」	「有無」
1カラカルが実行して診療料を請求するID番号が付されている				
2)カラカルが専門部等で中央管理されている				

注1：1患者カラカル制御とは、入院、外来のいずれかがID番号が付されている

2)カラカルが専門部等で中央管理されている

（審判部機密）

医療の質に関する取り組みをご記入ください。

(選択して下さい) 医療の質を担保するための仕組みがある。

有 → どのような仕組みですか。

(選択して下さい) 医療の質を担保するために診療内容を客観的に評価する仕組みがある。

有 → その仕組みの組織上の位置づけはどのようなものか、またその11月の運営状況について記述してください。

(選択して下さい) その他

有 → 具体的にその内容を記述してください。

(選択して下さい) 患者満足度調査の定期的な実施

(選択して下さい) 日本医療機能評価機構による医療機能評価の認定

(選択して下さい) ISOの取得

(選択して下さい) クリニカルバスの導入

数値にて入力してください。(○○人)などの単位を入力しないでください。

(選択して下さい) クリニカルバスの数

%で記入してください。(すでに様式をそのように整えておりますので変更しないでください。)

適用患者率(11月の退院患者数) (注1)

適用患者率(11月の退院患者数) (注1)

バス適用患者とは、クリニックバスが適用され完結した患者を除く)について、クリニックバスの適用となつた患者の率を記入ください。

(選択して下さい) その他

有 → 具体的にその内容を記述してください。





## 別紙2

### 調査対象施設と回答数

施設分類	調査依頼施設数	回答施設数	回答率
DPC病院	82	75	91.5%
DPC試行的適用病院	62	60	96.8%
DPC調査協力病院	20	17	85.0%
DPC新規調査協力病院	85	75	88.2%
合計	249	227	91.2%

## アウトカム評価・臨床指標／医療機能の変化に係る調査について

### 集計項目

#### 外来診療の状況

紹介率（外来）  
逆紹介率（外来）  
時間外・休日又は深夜に受診した6歳未満の初診患者の率  
救急用の自動車で搬送された初診患者の率

#### 高度医療の提供実績

高度先進医療の承認件数  
専任の治験担当職員の配置による治験管理センター設置の有無

#### 教育研修機能

指導医の数  
経験5年以上の医師数  
研修医数  
指導医1人当たりの研修医数  
研修1年目、2年目の研修医の受人数  
1病床当たりの専門医・認定医数  
病理解剖（剖検）の数（11月の1月間）  
CPC（臨床病理検討会）の開催回数（11月の1月間）  
常設の研修管理委員会（卒後臨床研修センター等）の有無  
指導医講習会に参加した指導医の数

#### 地域医療との連携状況

地域医療連携室の設置状況  
24時間診療受付体制

#### 医療の安全に関する取り組み

専任の医療に係る安全管理を行う者（リスクマネージャー）の職種別人数  
職種別人数  
医師・歯科医師 看護師 薬剤師 その他の職種  
医療にかかる安全管理のための委員会の職種別人数  
医師・歯科医師 看護師 薬剤師 その他の職種  
医療にかかる安全管理のための委員会の年間開催回数  
患者相談室の設置有無

#### 看護師配置の実績

看護職員一人当たりの患者数  
専門看護師・認定看護師数

#### 医療の質に関する取り組み

医療の質の取り組み状況  
クリニカルパスの数  
クリニカルパスの適用患者率

## 外来診療の状況

前回提出集計表

	紹介率(外来)			
	平成14年11月		平成15年11月	
	DPC病院	構成比	DPC病院	構成比
90%以上	1	1.2%	1	1.2%
80%以上90%未満	0	0.0%	0	0.0%
70%以上80%未満	1	1.2%	5	6.1%
60%以上70%未満	11	13.4%	9	11.0%
50%以上60%未満	23	28.0%	21	25.6%
40%以上50%未満	26	31.7%	29	35.4%
30%以上40%未満	18	22.0%	16	19.5%
20%以上30%未満	2	2.4%	1	1.2%
合計	82	100.0%	82	100.0%
平均	48.4%		50.9%	
最高	90.2%		96.6%	
最低	29.1%		24.7%	
集計除外	0		0	

今回集計結果

	紹介率(外来)					
	平成16年7月～10月					
	DPC病院	構成比	DPC試行的 適用病院	構成比	DPC調査 協力病院	構成比
90%以上	1	1.4%	2	4.4%	1	1.6%
80%以上90%未満	2	2.9%	1	2.2%	0	0.0%
70%以上80%未満	2	2.9%	2	4.4%	1	1.6%
60%以上70%未満	11	15.7%	3	6.7%	2	3.1%
50%以上60%未満	18	25.7%	2	4.4%	6	9.4%
40%以上50%未満	20	28.6%	11	24.4%	17	26.6%
30%以上40%未満	13	18.6%	17	37.8%	26	40.6%
20%以上30%未満	3	4.3%	7	15.6%	11	17.2%
合計	70	100.0%	45	100.0%	64	100.0%
平均	51%		44%		40%	
最高	98%		101%		100%	
最低	26%		21%		23%	
集計除外						48

注)期間の定義の相違有

	逆紹介率(外来)			
	平成14年11月		平成15年11月	
	DPC病院	構成比	DPC病院	構成比
60%以上	1	1.3%	1	1.2%
50%以上60%未満	0	0.0%	1	1.2%
40%以上50%未満	1	1.3%	2	2.4%
30%以上40%未満	3	3.8%	2	2.4%
20%以上30%未満	9	11.3%	5	6.1%
10%以上20%未満	37	46.3%	39	47.6%
0%以上10%未満	29	36.3%	32	39.0%
合計	80	100.0%	82	100.0%
平均	14.7%		13.6%	
最高	64.1%		16.6%	
最低	0.4%		0.0%	
集計除外	2		0	

	逆紹介率(外来)					
	平成16年7月～10月					
	DPC病院	構成比	DPC試行的 適用病院	構成比	DPC調査 協力病院	構成比
60%以上70%未満	1	1.5%	0	0.0%	0	0.0%
50%以上60%未満	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
40%以上50%未満	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
30%以上40%未満	2	3.1%	1	7.1%	2	7.4%
20%以上30%未満	10	15.4%	1	7.1%	5	18.5%
10%以上20%未満	32	49.2%	1	7.1%	7	25.9%
0%以上10%未満	20	30.8%	11	78.6%	13	48.1%
合計	65	100.0%	14	100.0%	27	100.0%
平均	14.3%		7.3%		12.0%	
最高	75.5%		31.5%		31.2%	
最低	1.5%		0.0%		0.0%	
集計除外						121

注)期間の定義の相違有